

ふじぎくら



街頭キャンペーン(6月1日)



男女共同参画推進事業者等表彰
(6月4日)

目次

特集

＜安藤哲也さんの講演会・座談会＞

父親の子育て 一仕事も育児も楽しむ生き方ー	2
男女共同参画推進月間	4
男女共同参画推進リーダー研修会	5
やまなし女性の知恵委員会	5
チャレンジインタビュー	6
県からのお知らせ	8



6月14日に、安藤哲也さん（NPO法人ファザリング・ジャパン代表）の講演会が行われました。

「Fathering」とは「父親であることを楽しもう」という意味です。ご自身の経験や子育ての現状を交えながら、仕事も育児も楽しむための生き方についてお話いただきました。講演会後は、子育て中のお父さんとの座談会、絵本の読み聞かせも行われました。



●あんどつてつやさん

東京都出身1962年生まれ。大学卒業後、出版、IT系企業に勤務。2006年父親の子育て支援を展開するNPO法人ファザリング・ジャパン(FJ)を立ち上げる。子育てパパ力検定、父子家庭支援等も行う。「パパ's絵本プロジェクト」メンバー、内閣府「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」委員、「にっぽん子育て応援団」共同代表。著書「パパの極意～仕事も育児も楽しむ生き方」[絵本であそぼ!]等。3児の父親。

講演会から

意識改革

父親になったらOSソフトを入れ替えよう。30年前の自分の父親のOSでは古い。子育ては義務ではなく権利、めぐってきたチャンス。主体的に関わろう。日本は世界一低い有休消化率（47%）、世界最短の育児時間（30分）、生産性が著しく低い働き方。子育ては期間限定。後悔してもその時間は帰ってこない。父親ほどすばらしい仕事はない。「子どもの成長」「ママの笑顔」「家族の幸せ」「自分の成長」のロングリターンを求める、それが笑っている父親。お父さんの笑顔は子供への最高の教育。

パパの居場所づくり

家が居心地のよい場所—ホームではなく、アウェイ化（敵地）している。職場がホームになっている。家族がパパのサポーターになろう。父親ならではのスペシャルな技、役割—料理、絵本、コーヒー、工作など—自分なりの楽しい関わり方をする。いいところ取りと言われぬように。子どもと一緒にいるのも自分の時間。1週間のうち号ではなく、号子どもに関わる。夜早く帰れないなら、朝がある。たまにすると家族サービス。

夜8時までに帰らないと子育てに関われない。8時までに帰るには、何時に職場を出るか逆算し、朝から効率的に仕事をする。あと何回子どもと食事を取れるか数えたことがあるか。

ロールモデル

父親の哲学、社会的見解を語る。3歳頃からきちんと聞いている。そこから、言葉、社会性、ルール、生きていく力を学んでいく。自我の芽生える10歳頃がターニングポイント、モデル探しをする年齢。親は子どもの生きていく手本、ロールモデル。ぐらついて生きていたら子どもは分からなくなる。大人は背筋を伸ばして生きていく。大人が輝いていないと、子どもは未来に希望が持てない。笑っている、かっこいい父親になろう！

日本には圏外パパが7割くらいいる。ママの声が届かない、自分が一番大事なパパ。夫婦関係が悪化し、子どもにも悪影響を与える。子どもは母性、父性の両方があると、いろいろな失敗から学ぶことができ、自立しやすい。

子育てパパは仕事もデキル

育児で備わる3つの能力①時間管理能力②問題解決能力③人材マネジメント能力（女性スタッフとのコミュニケーション能力、部下を育てる力）

寄せ鍋理論

ワークライフバランスというが、ワークが先ではなく、ライフが先。ライフという大きな鍋に具材として仕事があったり、介護があったり、人それぞれ。それらを全部鍋に放り込んでグツグツ煮て、ブレンドする。いろいろなことは相乗効果。

ママにできること

パパの門番をやめる。パパの上司にならない。子どもと同じく、褒めて育てよう。子育ては楽しいというメッセージをパパに発信しよう。

最後に…

ママと向き合い、明日から自分にできる「パパ力」は何か考えよう！

座談会から

育児は人間くさいもの。いいパパでいようと思うと楽しくない。自分が楽しく、長続きすること、例えば、『スポーツ』『料理』『絵本』など身の丈にあったものをすればよい。

お父さんからの悩み、質問に対して

●『子どもの叱り方・・・』

立って、上から目線で叱らないようにしている。子どもと同じ目線にして、目を見て、冷静に話す。叱っている自分を客観的に見られるか。子どもの反応を見ながら叱る。恐怖だけではいけない。

●『生きていく力』

父親が生き方を示していれば大丈夫。子どもは家庭だけで育つのではない。学校や地域で多様な「お父さん」を見ている。子どもは自分で育っていく。育つ力を信じる。生きる力が熟していく。「子どものために」と思うなら、父親が楽しくする。笑っている父親になる。

●『妻との関係』

女性の社会進出を支える社会になれば、男性も女性も、父親も母親も暮らしやすくなる。母親（妻）の夢を聞いてほしい。何か夢を持っているはず。

妻とは子育てのプロジェクトチームを組んでいる。普段から子どもの情報を共有し、役割を決めておく。妻との連携、信頼関係、愛情関係が大切。

●『仕事との関係』

仕事の効率化を図る。しかし、何時間も残業しないと終わらないのは、システムがおかしい。仕事をシェアすればいい。日本は個人商店化している。仕事を代われる人はいるが、父親の代わりはいない。

●『楽しむ秘訣』

育児は義務ではなく権利。チャンスがきた、プレミアムチケットを持っていると思ってほしい。子どもの成長—こんな喜ばしいことはない。頑張らないで頑張してほしい。

参加したお父さん

- 大塚 弘康さん (3児の父親)
 - 長田 圭弘さん (2児の父親)
 - 小宮山嘉隆さん (2児の父親)
 - 榊原 直樹さん (2児の父親)
- (五十音順)

安藤パパの読み聞かせ

黄色のエプロンが素敵でした!



『パパと10にんのこども』
ひくまの出版/2001



『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』
BL出版/2000



『たまごさんがね・・・』
童心社/2008



『わゴムはどのくらいのびるのかしら?』
ほるぶ出版/2000



『うんちっち』
PHP研究所/2004



『うえきばちです』
BL出版/2007

男女共同参画推進月間

県では、男女共同参画推進条例により、毎年6月を「男女共同参画推進月間」と定めています。県民の皆様にも男女共同参画についての関心と理解を深めていただくための様々な取組を行いました。

街頭キャンペーン

6月1日、甲府駅前において街頭キャンペーンを行い、啓発パンフレット「Men's style～新しいオトコの生き方～」などを配布しました。

やまなし男と女とのフォーラム ひとひと 参画の輪をひろげ、笑顔あふれる社会へ

6月4日に山梨県立文学館で開催し、400名の県民の皆様に参加していただきました。

◆パフォーマンス

劇団さくらっ子の職場における男女共同参画の問題をテーマとした寸劇や、中央市男女共同参画委員会のダンスを交えた参画ソングを披露しました。

◆講演

「仕事もしたい！生活も楽しみたい！」 ～ともに輝くためのワーク・ライフ・バランス～」

●講師：小室淑恵さん

(株)ワーク・ライフバランス代表取締役社長

小室さんは、仕事には短い労働時間で発想豊かにサービスをつくることが重要であり、生活が充実すれば、人脈・アイデア・スキルが得られて結果的に仕事の質と効率が高まる、と話しました。

ぜひ皆さんも自らの働き方を見直し、職場で、家庭でワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実践してみてください。

◆男女共同参画推進事業者等表彰

県では、男女共同参画を推進する活動に積極的に取り組んでいる個人や事業者等を表彰しています。今年度は、次の方々表彰されました。

(五十音順・敬称略)



寸劇「女が会社を変えるとき」(職場編)



参画ソング「参画の輪をひろげよう」

県民表彰

飯田よしみさん (甲州市)

市川 淳子さん (増穂町)

一瀬 絲子さん (市川三郷町)

梶原美千子さん (大月市)

久保田範子さん (甲斐市)

進藤 純世さん (北杜市)

横山みどりさん (甲府市)

事業者表彰

甲府信用金庫 (甲府市)

医療法人静正会 三井クリニック (甲府市)

団体等表彰

劇団さくらっ子 (甲府市)

『山梨県男女共同参画推進リーダー研修会』 を開催しました。

5月20日、ぴゅあ総合において推進リーダー研修会を開催しました。

推進リーダーは、平成20年度に委嘱し、今年度が任期である2年目となります。

地域での、より実践的な活動を目指して、研修会では推進リーダーの皆様と市町村の担当者が一緒になって勉強し、盛大に開催できました。

研修会では、『ファシリテーションを活用した男女協働のまちづくり』と題して、会議ファシリテーター普及協会代表の釘山健一先生に講演をいただきました。

釘山先生は、主に愛知県や静岡県で協働の進め方を指導したり、環境に関する市民活動を行っていらっしゃいます。また、協働を進める上で欠かせない「ファシリテーター」の養成もしています。

講演では、地域で活動する時に一生懸命やっているがなかなか上手くいかないことがある、先生はそんな時「楽しくやる」ことが大事と説きます。

先生から、協働の考え方や心構え、そして“協働の5の極意”を教えていただきました。活動するときには、是非この協働の極意を参考にしてください。



『協働の5つの極意！』

- ① 協働の目的とは人材育成。協働を通して、主体的に活動する人や仲間を育てる、それが大事です。
- ② 協働のコツは楽しくやること。なぜなら楽しいと、参加者は主体的になるからです。
- ③ 協働についてシンプルに理解しましょう。難しく考えずに、協働とは“市民と行政と一緒にやること”、と簡単に考えましょう。
- ④ 協働は最初から難しいことをすると大変。まず「身の丈の実践」から始めましょう。例えば、一緒に学んだりすることから始めましょう。
- ⑤ 協働を進めるには「ファシリテーション」を活用しましょう。ファシリテーションは、参加者の共感を大切に、参加者の主体性と可能性を引き出します。

やまなし女性の知恵委員会委員を委嘱しました。

6月12日、県では、女性の知恵と感性を県政に反映させるため、「やまなし女性の知恵委員会」を設置し、委員22名を委嘱しました。

委嘱式の後、チャレンジ山梨行動計画により県の政策説明を行い、委員長に甲府市の小川はるみさんを互選しました。引き続き、「子育て環境づくり」「教育の推進」の2班に分かれて、関連施策の説明、委員の意見発表を行いました。

現在、それぞれのテーマに関する県政への提案をまとめています。



チャレンジインタビュー

Vol.45

【起業】ジュエリーで思いを伝える！

ないとう ちえ
内藤 千恵さん（甲府市）

《株式会社ベーネユナイテッド常務取締役》



起業までのキャリア

大学卒業後、普段の生活の中では到底出会えないような人たちに関わられるような仕事をしたいという思いで、皇室御用達のアパレルメーカー(株)ジュン アシダへ就職。最初の半年間の研修では、厳しい日本語の指導を受けましたが、この時のお客様に対する「礼」への思いが私の原点になっています。

その後、父親の薦めもあり、県内の宝石メーカー(株)ラッキー商会へ転職し、ここで初めてジュエリーの仕事に携わりました。ジュエリーの商品企画を担当し、2年目には女性初の課長になりました。また、プライベートではこの時期に結婚し、長男を出産しました。社長の計らいで、フレックスタイムを導入していただき、さらには事務所にベビーシッターを呼んでいただくことで、仕事を続けることができました。

しかし、子育てをしていくうえで、働く女性として仕事も続けていながら、子供の成長に常に関わってほしいという気持ちがありました。そこで、2人目の子供を出産したことを契機にフリーのジュエリープランナーに転向しました。夫の転勤などで8回の引越しを経験しましたが、フリーになったおかげで子育てをしながら仕事を続けられてきたと思っています。

夢はかなえるもの

フリーで仕事をする中、自分の企画した商品が、問屋から卸、小売店へと流通する過程で、在庫として残ってしまうこと、商品に込めた自分の思いが止まってしまうことに不満がありました。「宝石を通して何が言いたかったのか？何をやりたかったか？お金がほしかったのか？そうではない」「自分たちの言葉でジュエリーをお客様に伝えたい！」という強い思いを感じるようになりました。

そんな折、ある宝石職人と宝石メーカーの営業マンとの出会いがありました。「このままでは納得する仕事が出来ない」「収入はあるけど、満足してない！」私たちには共通の不満がありました。3人で語り合う中で「本当に願ったものを手に入れよう！」という思いが融合し、これまでにないコンセプトの起業を実現しようと決意しました。

平成16年9月に3人でお金を出し合って、(有)トゥットベーネ（現(株)ベーネユナイテッド）を設立しました。フリーの時と比べて年収を大きく落とすことになりましたが、迷いはありませんでした。何より「コンセプトがあつてこういうことを伝えたい」という強い信念がありました。家族は反対せず、夢を追うことを支持してくれました。

小売店の出店は資金不足で難しいことから、インターネットの販売に挑戦してみようと考え、平成16年11月に自社工房での手作りジュエリー専門店として、インターネットショップ「ジュエリー工房 ベーネ・ベーネ」を楽天市場にオープンしました。

私は「夢はかなえるもの」だと思います。本当に心の底からほしいもので、手に入らないものはありません。手に入らないものは本当にほしいとは思っていないということです。

内藤さんのこれまで

甲府市出身。大学を卒業後、大手アパレルメーカー(株)ジュン アシダを経て、(株)ラッキー商会でジュエリーの商品企画を担当。2年目で女性初の課長に抜擢される。

2人目の出産を機に退職し、フリーランスのジュエリープランナーへ転向。

平成16年9月に志を共にする宝石職人、宝石営業マンと3人で(有)トゥットベーネを設立。同年11月にインターネットショップ「ジュエリー工房 ベーネ・ベーネ」を楽天市場にオープン。

平成19年に、ベーネ・ベーネが楽天市場ショップ・オブ・ザ・イヤー2007を受賞。重ねづけリングやサプライズ梱包など、独自のアイデアで高い支持を集めている。



通例にとらわれない

最初から宝石業界の通例の中で仕事をするのは止めようと思ひ、宝石業界の通例を越えたところに私たちの生きる場所があると考えました。

ある時、ブローカーから、手元に一握りのグリーンダイヤモンドがあるが、色がまちまちで売れないという話を耳にしました。宝石業界の通例では、全部同じ色のグリーンだけを集めて宝石を作るので、色の合わないものは、在庫となり、リスクになります。このとき、発想を転換して、色がばらばらのグリーンダイヤモンドの細かいリングに、“世界中の緑をここに集めました”というキャッチコピーをつけてみました。すると、これがたちまち大ヒット。逆に偶然色がそろってしまった時には、苦情が来るほどでした。



また、宝石業界ではコストを抑えるために、1つのデザインをたくさん作ってサイズ直しをする方法が一般的でした。でも、私たちはサイズ直しのためであっても、商品に切れ目を入れることはしてはいけない。なぜなら強度に問題が生じてしまうから。お客様から一個一個オーダーをいただいた後、ご要望のサイズ、金種で最初からお作りさせていただこうと決めました。

ものづくりの原点は、「お客様がほしい、望んでいるものを作るだけでなく、自分たちがきちんと責任を持ってこれがジュエリーだと言えるものを作り続けていく」ということだと考えています。正しく宝石を伝えることは私たちの使命です。

お客様のハッピーのために

ベーネの梱包には、通常包装と簡易包装の2種類があります。通常包装には7回のサブライズが込められており、手元に来た時の衝撃、開けた時にどんな楽しみ方があるかというストーリーを、ベーネのコンセプトに盛り込んでいます。また、どんなに忙しくても、手書きのメッセージカードに自分たちの思いを込めることは欠かすことができません。

ある時、自宅を引っ越したお客様から、簡易包装による注文がありました。お客様の要望とは違ったのですが、私自身引越しの疲れは身をもってわかっているため、疲れを少しでも癒していただければとの思いを込めて、ポプリの香りがする通常包装でお送りしたところ、お客様から感激のお電話をいただきました。私たちの思いが通じた瞬間でした。

周囲からは、インターネットで心が通じることはありえないと言われてきましたが、ベーネはインターネットでお客様の心に触れることができている。会社の社訓“ベーネのすべてはお客様のハッピーのために”という原点がぶれないよう心掛けています。

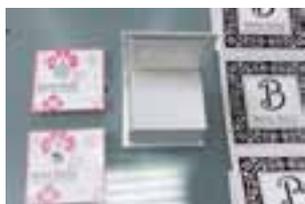
私の周りすべての人たちが豊かに自分を表現していることに、内藤千恵という存在が関わってほしいと願っています。女性も男性も自分の感情を豊かに表現できることは、本当に素晴らしいことだと思います。私のチャレンジはまだまだ終わりません。今度は、ベーネのノウハウを全員と共有することによって地場産業を活性化し、宝飾業界を盛り上げていきたい！と考えています。



メッセージカード



通常包装



簡易包装

株式会社ベーネユナイテッド

〒400-0851 甲府市住吉1-16-4
TEL:055-226-3439 FAX:055-226-3422
メールアドレス：info@bene-bene.com

これからチャレンジする女性へのメッセージ

「原点に戻る」ということが大切です。あなたの原点は何でしょう？私の原点は、「礼」の気持ちです。いろいろな出会いを通して、「私って磨かれている、磨いてもらっている」と感じ、感謝することで原点に戻ることができます。今まで私に関わってくれた皆さんに、仕事の仲間達に、両親に、家族にありがとうと感謝しています。

あなたは常に満ちあふれていますか？いつも自分が乾いていて、ほしい、足りないと思っていると、人は満足するために自分の器を小さくしてしまいます。自分の足りないものや弱みは、あなたの周りが補ってくれますので、自分の強みを生かすことが大切です。自分を肯定することは何よりも素敵なことだと思います。

Vol.44以前のインタビューは、やまなし女性の応援サイト
<http://www.pref.yamanashi.jp/challenge/interviewlist.php>でご確認ください。

県からのお知らせ



**男女いきいき・
輝き宣言企業を
募集しています！**

男女共同参画を積極的に推進している・推進しようとする企業の皆さんの応募をお待ちしています！

今後の講演会等の予定

- 10月16日 企業懇話会（第1回）
 - 10月28日 企業における男女共同参画推進セミナー
 - 10月30日 DV関係機関担当者研修会
 - 11月 6日 企業懇話会（第2回）
 - 11月16日 DV啓発講演会
 - 1月 やまなし女性のチャレンジシンポジウム
 - 2月 男女共同参画推進リーダー意見交換会
- 詳細は、県民生活・男女参画課ホームページでご確認ください。

Men's style ～新しいオトコの生き方～

啓発パンフレットを作成しました。今年度は、男性向けのパンフレットで、「家事」「育児」「介護」「地域活動」の4部門の構成になっています。今の生活、生き方について考えたり、男性の家事、育児への楽しみを見出すきっかけになればと思います。『オトコ磨き度』のチェックコーナーもありますので、家庭や職場でチェックしてみたいかたがでしょうか。是非ご活用ください。



編集後記

早いもので、今年度も半分が過ぎようとしています。今年度は男女共同参画社会基本法が制定されてから10年目になります。この機会に「ふじざくら」をご覧の皆様のご活動をご紹介できればと思っています。情報提供をお待ちしています。ファザーリング・ジャパンの安藤哲也さんのお話の中に「寄せ鍋理論」の話がありましたが、自分なりのブレンド、味わいが出せるような生き方をしていきたいものです。

編集・発行

山梨県県民生活・男女参画課

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 Tel. 055-223-1358 E-mail : kenmin-skt@pref.yamanashi.lg.jp

山梨県立男女共同参画推進センター

- びゅあ総合：〒400-0862 甲府市朝気1-2-2 Tel. 055-235-4171
- びゅあ峡南：〒409-2305 南巨摩郡南部町内船9353-2 Tel. 0556-64-4777
- びゅあ富士：〒402-0052 都留市中央3-9-3 Tel. 0554-45-1666